

■ 第 1 回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議 意見概要

意見分類	意見内容	意見から導き出される論点	対応
課題	・課題が不足していないか確認が必要ではないか。	・課題が適切に洗い出されているか。 ・課題に対する方針は、きちんと対応されているか。	・事務局にて課題を再整理。 ※課題の過不足については、会議等でも確認したい。
	・西側の課題が中心となっているように感じる。歩道の狭さなど、東側の施設とつながりにくいといった課題が分かりにくい。		・構想案 P11 に記載。 ・駅周辺道路の歩道が狭いなどの東側の課題を整理。
	・久留米のポテンシャルの 1 つでもある「グルメ」のニーズを踏まえて、来訪者の目線にたった時の課題を整理する必要があるのではないか。		・構想案 P22 に記載。 ・来訪者の目線での課題を整理。
	・資料のポテンシャルと課題と基本方針の色分けは対応しているのか。		・構想案 P 7 以降に記載。 ・ポテンシャル・課題に対する方針のつながりが分かりやすいように構想案の構成を整理。
将来像	・駅周辺の整備において、集客とにぎわいの仕組みが重要である。集客では、乗り換えのしやすい交通結節点の整備が必要である。賑わいでは、広場の活用の影響が大きく、Park-PFI やほこみち制度、ウォークアブルが重要である。 ・上記に関する事例を示してほしい。	・まちづくりの方向性、具体的なイメージが十分に共有できているか。	・構想案 P 8 以降に記載。 ・構想案に、各方針に対するイメージを共有できるように、他都市の事例を整理。
	・各都市の事例を活用しながら、まちづくりの方向性が具体的にわかるランドデザインがイメージできるようなものが必要ではないか。		・構想案 P 2 にまちづくりの方向性を記載。 ・各方針に対するイメージを共有できるように、他都市の事例を整理。
	・10 年、20 年先の西鉄久留米駅周辺のコンセプトとして本当に適しているのか。	・このエリアに適した将来像のイメージが十分に共有できているか。	・構想案 P 1、P 5 に記載。 ・将来像のイメージを再整理。 ※将来像は、会議等でも確認したい。
	・東側や北側、南側等の各エリアの土地利用の方向性等を検討する必要があるのではないか。	・駅周辺エリア全体のまちづくりの方向性、土地利用の方向性、具体的なイメージを検討する必要がある。	・構想案 P 2 に方向性、P20 にゾーニングを記載。 ・ゾーニングは駅周辺エリア 500m の範囲をエリアに分けて土地利用の方向性を記載。
	・以前、駅東口とその周辺で再開発を実施する話があったが、当時は断念している。今回の周辺整備と併せて、検討する必要があるのではないか。		
	・こうした企業に進出してほしいという方向性を示した方がいいのではないか。		
方針 1： 交通結節	・国道 3 号の渋滞悪化の懸念があるため、西口にも一般車乗降場が必要ではないか。	・将来を見据えた交通結節機能の再編。	・構想案 P 9 に記載。 ・詳細な空間構成については、今後、具体の検討を実施。
	・西口のためのバス集約が渋滞の要因となっているため、八女等の南側からのバスを東口に変更できると渋滞緩和がなされるのではないか。		
	・自転車を駅に停めてもらい、そこから駅周辺を歩いてもらう仕組みがあると良いのではないか。		
	・バスロータリー入口は、事故の懸念があるため、課題の解決に寄与する整備が必要ではないか。		
	・今後、ライドシェアも想定されるため、20 年先を見越した整備が必要ではないか。		

	・今後、タクシーの重要性が増すと思われるため、タクシー事業者の意見を聞くべきではないか。		・今後、具体の検討を実施する際に、各事業者からの意見を伺う。
方針２： めぐりたく なるまち	・違法駐輪の自転車が歩行者空間にはみ出してきているため、対策が必要ではないか。	・ソフト面も含めた違法駐輪対策を実施すべきではないか。	・構想案 P10 に記載。 ・自転車や自動二輪の利用の利便性向上を目指し、駐輪場の整備を検討する。 ・現在も違法駐輪に対する指導は実施中。
	・魅力的な場所はいくつもあるため、これを結ぶ動線や案内板があると良い。	・動線や案内板整備が不十分であり、歩行者通行量の向上につながっていないのではないか。	・構想案 P23 に記載。 ・商店街などに回遊を促すサイン計画の推進を目指す。
	・天神町公園は、駅に最も近い公園になるため、駅との結びつきや利用方法等を提案してはどうか。	・公園などの空間を有効活用することで、まちの活性化につながるのではないか。	・構想案 P16、P19 に記載。 ・にぎわい創出の一環で、公園と一体的な利用ができるカフェを併設予定。公園の利活用が図られるように事業者と協議中。
	・東側にある石橋文化センターなどの緑地を活用していくことが重要ではないか。	・回遊性の向上が駅周辺の歩行者通行量の向上につながるのではないか。	・構想案 P12 に記載。 ・歩行者ネットワークの形成を目指す。
方針２： 景観	・西鉄久留米駅周辺だけでも、景観計画の重点地区に指定するなど、より厳しい規制をかけたほうが良いのではないか。	・駅前の景観が悪いため、看板などに規制強化が必要ではないか。	・構想案 P14 に記載。 ・周辺に調和した屋外広告物の設置等に関するルールづくりによる、風格と統一感のある沿道景観の形成を目指す。
方針３： 防災	・地下空間の整備の検討も必要ではないか。	・社会情勢の変化を踏まえた防災機能の整備を検討しておく必要がある。	・構想案 P21 に記載。 ・福岡県、市防災部局の動きを注視しつつ、既存の東町地下駐輪場、東町公園の地下駐車場の活用を検討。
方針４： 道路	・国道３号及び３２２号の道路拡幅が必須ではないか。バスの定時性確保への影響も出ている。歩行空間、自転車空間も狭く、整備が必要ではないか。	・都市計画道路未整備区間における整備はまちづくりにおいても必要ではないか。	・構想案 P13 に記載。 ・環状道路の整備促進などにより、まちなかの通過交通の抑制を目指す。
方針５： 地域の価値	・駅周辺のハード整備のみではなく、使いこなす人材育成も進めていく必要があるのではないか。	・駅前などの公共空間においては、まちの賑わい創出と魅力の向上のため、行政だけではなく官民一体となった取組が必要ではないか。	・構想案 P24 に記載。 ・まちなかの空間を使いこなすことのできる人材を育成する仕組みづくりを目指す。
	・若い人が活躍できる場が少しずつできているので、これを後押しできる体制が必要ではないか。		・構想案 P24 に記載。 ・既存の組織だけではなく、多様な主体が関われるような体制構築を目指す。
その他	・九州大学の報告書を活用させてもらえると良いのではないか。	・学生（若者）、市民などの幅広い意見を盛り込む必用があるのではないか。	・構想案 P 7 以降に記載。 ・各調査における市民の声を整理。 ・今後は、パブコメにおいても意見を聴取し、反映。
	・地域の方々の意見は、どのようなものがあるのかあれば教えてほしい。		